

(様式 2)
議事録番号

提出 平成 24 年 10 月 31 日

会合議事録

研究会名：ソフト界面科学研究会

日 時：平成 24 年 8 月 25 日（土）10：00～12：00

場 所：大阪大学・工学研究科・R1 棟 111 教室

出席者：（議事録記載者に下線）

飯村兼一（宇都宮大工）、宇留賀朋哉（JASRI）、谷田肇（京大産学連携）、
新田清文（JASRI）、矢野陽子（近大理工）、西直哉（京大院工）、
瀧上隆智（九大院理）

計 7 名

議題：以下の内容に関して紹介および議論を行った。

1. 研究会紹介
2. 最新研究紹介
3. フリーディスカッション
 - (1) SPring-8 の現状と次期計画について
 - (2) 今後の研究会活動
 - (3) その他

議事内容：

1. 飯村代表より、本研究会設立の趣旨および活動目的等に関して紹介された。
2. SPring-8 の放射光を用いた X 線反射率および全反射 XAFS 測定に関する最新の研究内容紹介として以下の 3 件を行った。
 - 2-1. 矢野陽子先生（近大理工）
「液体表面で見られるタンパク質の塩析現象」
 - 2-2. 西 直哉先生（京大院工）
「X 線反射率測定でみるイオン液体のソフト界面の構造」
 - 2-3. 谷田 肇先生（京大産学連携）
「全反射 XAGFS 法による液液界面のイオン吸着構造の解析」

研究内容紹介後、参加メンバーによる質疑応答を行い、研究内容の相互理解を深めた。

3. SPring-8 の現状と次期計画について

3-1. SPring-8 のアップグレードに関する意見および現行の SPring-8 に対する意見・要望の各項目について検討された。また、後日意見がある場合には代表または副代表に連絡することとした。

3-2. 今後の研究会活動として、2012 年度日本化学会・春季年会（3 月 22～25 日開催；立命館大学・びわこ草津キャンパス）におけるシンポジウム企画について検討することとした。また、2013 年度も SPring-8 シンポジウムにおいて研究会のサテライト開催を行うこと、コロイドおよび界面化学討論会（9 月；名古屋工大）においてもシンポジウムを企画することとした。

さらに HP をリニューアルし内容の充実を図ることとした。

3-3. その他、大規模予算の獲得を目指した研究会内での共同研究の実績作り、国際シンポジウムの開催企画などが提案され、今後検討することとした。さらに、新季刊化学総説「カレントビュー 化学への応用が広がる放射光（仮題）」における界面に関する解説記事の執筆を矢野・瀧上両名が担当すること、座談会（フロントランナーに聞く）への出席を荒殿先生（九大院理）にお願いすることとした。